

Blackboard Learning & Teaching Conference 2015

14 NOVEMBER | BELLESALLE YAESU | TOKYO

ディープ・アクティブラーニングとそのアセスメントにテクノロジーの果たす役割を考える

基調講演「ディープ・アクティブラーニングとそのアセスメント」

京都大学高等教育研究開発推進センター教授 松下 佳代様



講演概要

一方向的な講義形式ではなく学習者の能動的な参加を取り入れたアクティブラーニングは、ユニバーサル化した大学において、確かに必要かつ有効な教育方法です。しかし、大学の授業はアクティブであるだけでよいのでしょうか。グループワークやプロジェクトなどを用いた授業も、理解の深さや意味の追求を伴わなければ大学授業としては不十分です。このアクティブラーニングに「深さの軸」も組み込むにはどうすればよいのか、そこでの学生の学びをどうアセスメントするかについてお話しします。

PROFILE

現職: 京都大学高等教育研究開発推進センター 教授。京都大学博士（教育学）。

経歴: 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程研究指導認定退学。京都大学教育学部助手、群馬大学教育学部助教授、京都大学高等教育教授システム開発センター助教授を経て、2004年より現職。

専門: 教育方法学、大学教育学。特に能力、学習、評価をテーマに研究と実践を行っている。

主な著書: 『パフォーマンス評価』（日本標準、2007）、『〈新しい能力〉は教育を変えるか—学力・リテラシー・コンピテンシー—』（編著、ミネルヴァ書房、2010）、『高校・大学から仕事へのトランジション—変容する能力・アイデンティティと教育—』（編著、ナカニシヤ出版、2014）、『ディープ・アクティブラーニング—大学授業を深化させるために—』（編著、勁草書房、2015）など。

講演「Blackboardと歩んだ12年：高等教育改善を駆動するツール」

岐阜大学学長補佐 総合情報メディアセンター教授 加藤 直樹様



講演概要

2003年から新設の総合情報メディアセンターに所属し、全学的な視点からの教育情報システムの構築と利用による教育改善に従事してきました。当初は学習機会の拡充をめざしましたが、課題は教育の質の向上、学習成果の評価、アクティブラーニングへと移り変わり、現在では教育実践レベルでの改善にも取り組んでいます。そしてこの間も継続してBlackboardを活用し続けたのはシステム利用を通して、米国での高等教育の改善課題を我々に示唆してくれたからでした。そこで、本学では何を改善課題として取り組んできたのか、12年間のBlackboardとの歩みをご紹介します。

PROFILE

現職: 岐阜大学総合情報メディアセンター、教授

経歴: 1993年から岐阜大学教育学部附属カリキュラム開発研究センターに勤務、総合情報メディアセンター教授を経て、2013年～2014年に同センター長。現在、学長補佐、教育推進・学生支援機構副機構長を兼務。

主な著書: (学会等)

- 1) 加藤直樹、岩山尚美、岩山豊、主体的に学ぶ学生を育成する学習過程のデザイン、日本教育工学会研究報告集、JSET12(5):113-120, 2012
- 2) 加藤直樹、村瀬康一郎、益子典文ほか、高等教育におけるメディア統合型教育システムの構築、大学情報システム環境研究、7、29-36, 2004

講演「Deep Active Learning using Blackboard's blog, wiki and portfolio tools」

Ms. Inger Marie F. Christensen, Senior e-Learning Adviser, University of Southern Denmark



講演概要

2012年以降、南デンマーク大学ではアクティブな授業と学習を教育の基本方針としてきました。その基本方針の下、学生に主体的な学びを促すだけでなく、深い学びに学生を導き、学習目標の設定を学生が容易にできるように、学習プロセスがデザインされてきました。この講演では、南デンマーク大学においてBlackboard Learnのtoolを活用して、どのように、学習のゴールと学習プロセスをマッチングさせ、ディープ・アクティブラーニングを実現してきたかをご紹介します。

PROFILE

現職: 南デンマーク大学 主任e-ラーニングアドバイザー。LOM（学習とメディアに関するデンマークのオンラインジャーナル www.lom.dk）協同編集者。ブレンド型学習、遠距離学習の設計を担当、特にe-ポートフォリオとフィードバックを活用した双方向学習に注力。e-ラーニングとe-ラーニングプラットフォームの活用についてのFDの設計と指導を担当。e-ポートフォリオを活用した学習プロセス、3次元仮想環境活用の教授方法やFDについて、著書、Web会議システムを通じて発信。

経歴: 情報通信技術学修士、教育学修士

主催者講演「Blackboardのクラウド戦略」

Glenn Philpott, Director, Education Services, APAC, Blackboard



主催者講演「Moodleroomsのご紹介」

Foong Yee Leon, Global Open Source Executive, Blackboard



2015年11月14日ベルサール八重洲にて開催！ぜひご参加ください。

開催概要

日 時	2015年11月14日(土) (10:30～受付、11:00～シンポジウム、15:55～分科会)
場 所	ベルサール八重洲 (東京都中央区八重洲 1-3-7) Room D + E / Room A・B
主 催	Blackboard 社・アシストマイクロ株式会社
定 員	100名
費 用	無料
申 込 方 法	アシストマイクロ Web サイト「イベント・セミナーお申し込みフォーム」よりお申し込みください。 https://www.assistmicro.co.jp/contact/app_seminar/

プログラム

11:00-11:05	開会挨拶
11:05-12:05	基調講演「ディープ・アクティブラーニングとそのアセスメント」 京都大学高等教育研究開発推進センター 教授 松下 佳代様
12:05-12:15	休憩
12:15-13:00	講演「Blackboard と歩んだ 12 年：高等教育改善を駆動するツール」 岐阜大学学長補佐 総合情報メディアセンター教授 加藤 直樹様
13:00-13:45	昼食、情報交換 (Room A + B)
13:45-14:30	講演「Deep Active Learning using Blackboard's blog, wiki and portfolio tools」 Ms. Inger Marie F. Christensen, Senior e-Learning Adviser, University of Southern Denmark
14:30-14:40	休憩
14:40-15:10	主催者講演「Blackboard のクラウド戦略」 Glenn Philpott, Director, Education Services, APAC, Blackboard
15:10-15:40	主催者講演「Moodlerooms のご紹介」 Foong Yee Leon, Global Open Source Executive, Blackboard
15:40-15:45	閉会挨拶
15:55-16:50	分科会 Blackboard 社学習ソリューションのご紹介 ●Blackboard Learn (Room A) ●Moodlerooms (RoomB)

会場へのアクセス

ベルサール八重洲

〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7

八重洲ファーストフィナンシャルビル 2・3F

http://www.bellesalle.co.jp/room/bs_yaesu/access.html

- 東西線・銀座線・浅草線「日本橋駅」A7 出口 直結
- JR 線・丸ノ内線「東京駅」八重洲北口 徒歩 3分



お問い合わせ先

Blackboard 日本総販売代理店
アシストマイクロ株式会社 Blackboard Japan Project

Blackboard

〒164-0012 東京都中野区本町 3-31-11 YUWA ビル 7F

Tel. 03-5302-2981 E-mail. bb_info@assistmicro.co.jp <http://www.blackboard.jp/>